

祝 全国・関東大会出場おめでとうございます

7月に行われた中学校総合体育大会の県予選を見事勝ち抜き、矢板中学校 陸上競技部・相撲部・体操競技部・弓道部、片岡中学校 陸上競技部・卓球部の皆さんが関東大会に出場しました。相撲部が6年連続、弓道部・女子が4年連続で出場したほか、連続出場する部活動が前年度より大幅に増える結果となりました。

また、陸上競技の福田さん、中郷さんは、全国大会出場の標準記録を超える成績を収め、岡山県で行われた全国大会にも出場しました。

このほか、矢板中学校吹奏楽部が栃木県吹奏楽コンクールで金賞を獲得し、昨年に引き続き東関東吹奏楽コンクールへの連続出場を決めました。



吹奏楽 (矢板中・2年連続)

奥村 真理絵 川合 和香羽 熊谷 くるみ 堀畑 里奈 笹沼 ゆめ 田中 桃子 根本 佳奈
齋藤 美咲 平野 心菜 小川 美恵 伊東 夏実 西原 帆乃花 (3年)
中村 真美 村上 朋花 五十嵐 咲妃 神長 聖也 神山 愛花 青木 咲樹 関谷 竜聖 (2年)
金子 澄音 荒井 ひより 齋藤 美鈴 藤田 菜央 福田 和奏 加藤 碧 肥後 礼愛 (1年)
9月22日(土) 第24回東関東吹奏楽コンクール



相撲 (矢板中・6年連続)

大島 佑之 (3年) 宮崎 伊吹 (3年)
手塚 広治 (2年) 更科 虎丸 (2年)
森田 龍之介 (2年)
8月12日(日)
第42回関東中学校相撲大会



体操競技・男子 (矢板中)

米澤 泰生 (3年) 君嶋 志通 (2年)
熊田 優士 (1年)
8月8日(水)～10日(金)
第49回関東中学校体操競技大会



体操競技・女子 (矢板中・2年連続)

藤田 寧々 (3年) 君嶋 千弥 (3年)
小林 愛里 (2年) 藤田 六花 (1年)
小西 珠希 (1年) 米澤 あかり (1年)
8月8日(水)～10日(金)
第49回関東中学校体操競技大会



陸上競技 (矢板中・2年連続)

福田 蒼依 (2年)
8月8日(水)
第46回関東中学校陸上競技大会
※福田さんは、全国大会にも出場



弓道部・男子 (矢板中・2年連続)

菅沼 大暉 (3年) 手塚 結 (3年)
宮下 慧大 (2年) 大森 捺稀 (2年)
8月10日(金)
第29回関東中学校弓道大会



弓道部・女子 (矢板中・4年連続)

糸井 純蓮 (3年) 大町 恵未 (2年)
大野 愛実 (2年) 笹沼 由唯 (2年)
8月10日(金)
第29回関東中学校弓道大会



陸上競技 (片岡中)

中郷 成生 (3年)
8月8日(水)
第46回関東中学校陸上競技大会
※中郷さんは、全国大会にも出場



卓球 (片岡中)

鈴木 紳平 (3年)
8月8日(水)～10日(金)
第46回関東中学校卓球大会

7/14 (土) 魅力あるまちを創る

生涯学習館で、昨年矢板武塾に参加した第14期生を中心とした高校生団体「YAITA ALL DIRECTIONS」の設立総会が開かれました。この団体は、活動を通して市の活性化と「自分の居場所」を創り出すことを目的に設立されたものです。

代表の矢板東高2年の椎貝しいがいさんは「主体的に地域と関わり合いながら、気軽に集うことができる『高校生カフェ』の実現に向け、高校生らしい視点と情熱をもってがんばりたい」と意気込みを語ってくれました。



▲(左手前から)
石山さん(矢板東高)、青木さん(矢板中央高)、印南さん(矢板東高)、椎貝さん(矢板東高)、長谷川さん(矢板高)、荒井さん(矢板高)、芝山さん(矢板高)、石原さん(矢板東高)、大島さん(矢板東高)

7/16 (祝・月) 塩田ダムで自然を学ぶ

塩田ダムで「水辺の生き物調べ&カヤック体験」が開催されました。これは、子どもたちに矢板の豊かな自然を知り、体感してもらおうと環境文化都市やいた創造会議が中心となり、宇都宮大学・飯郷研究室とオムチエアウトドア&スポーツクラブの協力により行われたものです。

参加した親子は「川や草むらにたくさんの生き物がいて驚いた」「たくさんの魅力がある矢板の自然をもっと多くの人に知ってもらいたい」と話してくれました。



7/22 (日) 片岡の熱い夏!

JR片岡駅西口をメイン会場に、コリーナ矢板周辺を周回する国内最高峰の自転車ロードレースシリーズ「第2回JBCF やいた片岡ロードレース」が開催されました。この大会は、選手が駅前ロータリーを自転車で駆け抜けるという、全国でも例を見ないコースで開催され、白熱したレースを観戦しようと同前より3,000人多い約10,000人の観衆が会場を訪れ声援を送りました。

また、事前準備を含め、地域の方など200人を超えるボランティアが運営に携わり、大会を支えました。



7/28 (土) 地元の誇りを胸に

県消防学校で、「第43回栃木県消防操法大会」が開催され、県内各地区から選出された、ポンプ車操法の部・小型ポンプ操法の部あわせて15チームが出場し、消防団が機械器具操作の的確さなどを競いました。

当日は、6月30日(土)の「矢板市第50回消防ポンプ操法競技会」ポンプ車操法の部で優勝した第5分団第2部の皆さんが塩谷地区の代表として出場し、応援に駆け付けた地元の皆さんの声援のもと、日頃から積み重ねてきた訓練の成果を披露しました。



8/3 (金) 感謝を込めて

矢板中学校の生徒を代表して生徒会と緑化委員会の3人が生涯学習館を訪れ、プランターの寄贈を行いました。これは、緑化委員会の皆さんが中心となって5年以上前から活動しているもので、今年は種から育てたマリーゴールドのプランター約40鉢を職場体験学習などでお世話になった各事業所に、感謝の気持ちを込めて届けました。

緑化委員長の田邊さんは「生徒みんなが交代で水やりをするなど大切に育てた。お世話になった方たちにぜひ見てもらいたい」と話してくれました。



▲(前列右から)
・生徒会長 小池さん
・緑化委員長 田邊さん
・緑化副委員長 増子さん

第26回 たかはらやまトライアスロン

8月5日(日)、矢板運動公園をスタート・ゴールに、トライアスロン大会が開催されました。オリンピック・スプリント・リレー・キッズの4部門に全国から414人が参加し、熱戦を繰り広げました。気温が34度を超える炎天下での開催でしたが、近隣住民や選手の方たちはコース沿道から選手に熱い声援を送っていました。また、当日は矢板中央高校の生徒や地域団体などから200人を超えるボランティアが選手のおもてなしや運営のサポートなどに携わり、大会を大いに盛り上げました。



参加者最高齢 金子文男さん (79歳)

大会結果 (市内参加者)

オリンピックの部 (スイム 1.5km/ バイク 40km/ ラン 10km)					
順位	氏名	記録	順位	氏名	記録
23	佐藤 大	2:42:00	138	齋藤 正樹	3:18:16
54	三富 匠	2:54:42	141	木下 正三	3:19:04
70	岡村 秀治	3:01:51	166	笹沼 守	3:29:53
88	大島 隆宏	3:05:26	225	木下 英亮	4:14:59

スプリントの部 (スイム 0.6km/ バイク 20km/ ラン 5km)					
順位	氏名	記録	順位	氏名	記録
21	齋藤 美南海	1:28:49	69	金子 文男	2:07:58
29	吉沢 勇輝	1:34:34	71	金子 啓一	2:10:54
65	星宮 良行	2:00:01			

キッズの部 (スイム 20m/ バイク 1.2km/ ラン 1km)		
順位	氏名	記録
6	黒尾 康介	0:10:22



8/4 (土) 思い出を子どもたちに

片岡駅周辺で、「子ども神輿」が行われました。これは、片岡商工振興会が中心となり「子どもたちの健全育成や地域での思い出にしてほしい」との思いから開催したものです。この日のために練習を重ねた片岡長生会の皆さんのお囃子に合わせ片岡のまちなかを練り歩き、昼前に到着した片岡駅西口では、長さ約100mの流しそめんを集まった近所の方たちと一緒に楽しみました。子どもたちは「お神輿は重くて大変だったけど、流しそめんがとても楽しかった」と笑顔で話してくれました。



8/8 (水) 全国の舞台で活躍

日本武道館で行われた、全日本剣道道場連盟主催の「第53回 全国道場少年剣道大会」に栃木県代表として出場し、ベスト8の取組賞に輝いた市内剣道団体「五葉館」の選手、監督が市役所を訪れ市長に出場結果報告を行いました。長屋監督から「各都道府県の予選会を勝ち抜いた560チームが参加する大きな大会で、選手が力を合わせて戦った結果」との話があり、主将を務めた石橋さんは「全国の舞台で強豪相手に実力を発揮できた。次の全国大会では、優勝を目指して練習をがんばりたい」と意気込みを語ってくれました。



▲(写真右から)
 ・齋藤市長・高松有入さん
 ・長島春斗さん・石橋礼都さん
 ・手塚晶さん・矢野彩和さん・村上教育長
 ◀全国大会の様子

8/8 (水) 地域に花の彩りを

矢板市自治公民館連絡協議会による「花いっぱいコンクール」の審査会が行われ、花づくり自慢の自治公民館14館がその出来栄を競いました。どの地区も公民館利用者やドライバーの心を和ませようとカンナ・サルビア・マリーゴールドなどの色鮮やかな花で彩られており、限られたスペースで工夫を凝らし、地域の皆さんが日頃から熱心な手入れを行なっていることが伝わるものばかりでした。最優秀賞には、案山子や花の名札をつけ、アイデアが詰まった花壇を作った越畑公民館が見事輝きました。



【最優秀賞】
越畑 (上写真)
 【優秀賞】
大槻・ハッピー・ハイランド矢板
 【努力賞】
末広町・沢

8/9 (木) 来場者700万人達成!!

道の駅やいたの来場者数が700万人を達成し記念セレモニーが行われました。道の駅やいたは2011年4月末にオープンし、地元的新鲜野菜や「やいたブランド」を取り扱い、レストランのメニューなども充実していることから市内外から訪れる多くの方たちで毎日にぎわいをみせています。700万人目の来場者となったのは、東京都品川区から那須高原へ向かう途中で立ち寄った池上貴之さんご家族で「夢のような出来事で驚いた。とても良い思い出となった」と感想を話してくれました。



8/10 (金) 被災地で感じたもの

片岡中学校の生徒24人が宮城県東松島市にある「空の駅」や「震災復興伝承館」を訪れ、東日本大震災当時の様子や復興する過程の話を地元の方から伺いました。「空の駅」は、毎年生徒が訪れて交流を深めていた小野駅前仮設住宅の方たちが仮設住宅が無くなるのを機に建てたもので、そこでは「おのくん人形」の作成と販売が引き続き行われています。生徒たちから「被災した方の話を聞いて、災害の怖さや備えの大切さを知ることができた。同時に、立ち上がるとうとする人間の強さも学んだ」との感想が聞かれました。



8/11 (祝・土) 宮川で水に親しむ

川崎城跡公園近くの宮川で、環境文化都市やいた創造会議主催の「大そうじ&川遊び体験会」が行われ、20人を超える親子が参加しました。このイベントは8月25日の「あんどまつり」に向けた河川敷の美化活動と川遊び体験や生き物探しを通じて、豊かな自然を実感し、環境を守ることの大切さを体感してもらうことを目的に開かれました。子どもたちは「メダカやギバチなど数が減っている生き物が川にいて驚いた。楽しく遊ぶことができるきれいな川を大切にしたい」と感想を話してくれました。

